



学年	7 漢字を書く 3 ②
組	
名前	

1 | _____ を漢字で () に書きましょう。

- ① しんきゅうが 入りまじる ()
 - ② 犯人があらわれる ()
 - ③ 子ども議会のあり方 ()
 - ④ ふたたびおとずれる ()
 - ⑤ こううん機 ()
 - ⑥ 少年よたいしをいだけ ()
 - ⑦ かいせいの空 ()
 - ⑧ ねいろがよい ()
 - ⑨ イワシのたいぐん ()
 - ⑩ あらたな年 ()
-
- ⑪ ただちに始める ()
 - ⑫ 科学者への道をあゆむ ()
 - ⑬ ぞうき林 ()
 - ⑭ 土地の面積をはかる ()
 - ⑮ なががいねがりにつく ()
 - ⑯ ひさしがりに会う ()
 - ⑰ つまと夫 ()
 - ⑱ ことをたずね歩く ()
 - ⑲ しんまいを食べる ()
 - ⑳ きよぶん探知機なん ()

③

漢字ノートに練習

- ① 一步退く ()
- ② 朝食を食べる ()
- ③ 外国から帰国する ()
- ④ 水田が広がる ()
- ⑤ 報道番組 ()
- ⑥ 賛同を得る ()
- ⑦ 職人わざ ()
- ⑧ ピアニストを志す ()
- ⑨ 人が群がる ()
- ⑩ 理由が複数ある ()
- ⑪ 往路と復路 ()
- ⑫ 反則はしない ()
- ⑬ 三角定規 ()
- ⑭ 父が禁酒している ()
- ⑮ 血圧を測る ()
- ⑯ 要求を退ける ()
- ⑰ 旧式のエアコン ()
- ⑱ アメリカに永住する ()
- ⑲ 感情を表に出す ()
- ⑳ 鉄橋を渡る ()

1

の漢字の読みがなを () に書きましょう。

7	学年	
	名前	
漢字を読む ③		

18 敬語	
学 年	
組	
名 前	

- 1 〃の言葉を、「ていねいな言い方」に直しましょう。
- ① 先生をよんでくれ。 ()
- ② この席は空いているか。 ()
- ③ 星がきれいだな。 ()
- ④ うまいと言った。 ()
- 2 〃の言葉を、「尊敬語」に直しましょう。
- ① 先生が映画を見る。 ()
- ② お客様が部屋にいる。 ()
- ③ 先生がケーキを食べる。 ()
- ④ 市長が学校に来る。 ()

- 3 〃の言葉を、「けんじよう語」に直しましょう。
- ① プレゼントをもらう。 ()
- ② 私があいさつを言う。 ()
- ③ 私が先生の荷物を持つ。 ()
- ④ お花をあげる。 ()
- ⑤ 私が行きます。 ()
- 4 次の文の 〃部分が、「ていねい語」ならば、「尊敬語」ならば「けんじよう語」ならばワカの記号を書きましょう。
- ① 先生がお笑いになる。 []
- ② 名所をご案内する。 []
- ③ ここが私の家です。 []
- ④ 手紙をお見せする。 []
- ⑤ 三十分前に来ました。 []

18	敬語		
学 年		組	名前

1 次の言葉を、「尊敬語」と「けんじよう語」に書き直しましょう。

(普通の言い方)

(尊敬語)

(けんじよう語)

① 見る ↓

② 聞く ↓

③ 言う ↓

④ 食べる ↓

⑤ 行く ↓

2 次の — の言葉を、「ふうの言い方」に直しましょう。

例 先生が学校に来られる。

① ぼ金を集めます。

② お客様がごらんになる。

③ 家には、私がおります。

④ 荷物をお持ちする。

⑤ 夕食をめしあがる。

3 次の — の言葉を指示にしたがって、敬語に直しましょう。

① 妹は、元気にあいさつする。

(「です・ます」を使ったていねい語)

② 先生が、本を読む。

(「お...になる」の形の尊敬語)

③ 冬の夜空は、とてもきれいだ。

(「です・ます」を使ったていねい語)

④ 校長先生が、退席する。

(「ご...になる」の形の尊敬語)

5/18
⑥

「説明的な文章」に関する問題

年 組 番氏

次の文章は、千葉さんが最近関心がある「方言と共通語」について、調べたことをもとに書いた文章です。この文章を読んであとの問いに答えなさい。

「方言」をさがしてみよう

○小学校 千葉 花子

昨年、テレビなどの影響もあって、ある地方でだけつかわれる言葉が注目を浴びました。ある地方でだけつかわれている言葉を「方言」といい、日本全国どこでも共通して用いられる言葉を「共通語」というそうです。

では「方言」には、どのような言葉があるでしょうか。

たとえば、「こんにちは」のことを調べてみると、地方によって、「まいどさん」「きげんさん」「こんちやわした」「だんだんどーも」などと言うことがわかりました。

言葉そのものがちがうのではなく、アクセントに違いがある場合もあります。アクセントとは言葉のどこを高く発音し、どこを低く発音するかというきまりのことです。たとえば「秋」という言葉は東京、名古屋、広島では「あ」を高く発音しますが、京都や四国では「き」を高く発音するそうです。

言葉やアクセントだけでなく、文末表現が異なる場合もあります。千葉県のある地方では、「○○です。」「○○を、」「○○だっぺ」といった言い回しをすることがあります。これも方言の一種です。

また、しつかりしてほしいときに千葉県や茨城県の一部の地域では「しみじみなさい」と言う言い回しをしますが「しみじみ」を国語辞典で引いてみる「心に深く通じ合うものがある様子」書かれており、同じ言葉でも方言と共通語では使い方や意味が異なる場合があることがわかりました。

たとえば、ジヤン（ではないか）ヤツパシ（やはり）といった言葉は、主に若い人たちの間で使われる方言で、年配の人の間ではあまり使われなようです。地方独特の言い回しには温かみや、親しみを感ずる一方で、他の地方の人には通じにくいという欠点もあります。

また、地方色の強かった方言ですが、近年は交通網や情報網の発達により、その地方でだけ使われてきた言葉が広くつかわれるようになりました。言葉というのほまさに時代とともに生きて変化しているとも言えそうです。

では、方言と共通語はどのように使い分けられようのでしょうか。テレビのニュースは日本全国のいるいるな人を対象としており、その場合は共通語を用いることが適切でしょう。しかし、同じ地方の友達と久しぶりにあったときに思

わず飛び出す言葉は A でしょう。このように、それぞれ場面や相手を考えて使い分けることが大事だといえます。みなさんの地方にはどのような方言がありますか。また、それを用いるのは主にどのような年代の人ですか。これを機にせひ、身の回りの言葉について調べてみませんか。また、同じ地方であっても、年代によって使われる言葉が異なる場合もあるようです。

問一 ①「方言」とはどのような言葉だと説明していただけますか。本文から十四文字でぬき出しなさい。

言葉

-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

②「共通語」とはどのような言葉だと説明していただけますか。本文から十七文字でぬき出しなさい。

言葉

-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

問二「方言」とは、言葉そのものがちがうのではなく、アクセントに違いがある例として何という言葉をあげていただけますか。漢字一文字で書きなさい。

問三 ①「方言」のよきについて本文では、どのように述べていますか。

-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

②「方言」の欠点についてはどのように述べられていますか。

-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

-2-

問四 最後の□で囲んだ一文は、文章のどこに入るのがよいでしょうか。適切な場所をア～オの記号で答えなさい。

問五 Aには「方言」「共通語」のどちらの言葉が入るのがふさわしいでしょう。

-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

問六 方言と共通語はどのように使い分けることが必要と述べていますか。九文字でぬき出しなさい

-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

使い分ける

7	学年	
	組	
漢字を書くと	名前	
3		
②		

1

を漢字で () に書きましょう。

- ① しんきゅうが入りまじる (新旧)
- ② 犯人があらわれる (現)
- ③ 子ども議会のあり方 (在)
- ④ ふたたびおとずれる (再)
- ⑤ こううん機 (耕)
- ⑥ 少年よたいしをいだけ (大志)
- ⑦ かいせいの空 (快晴)
- ⑧ ねいろがよい (音色)
- ⑨ イワシのたいぐん (大群)
- ⑩ あらたな年 (新)

- ⑪ ただちに始める (直)
- ⑫ 科学者への道をあゆむ (歩)
- ⑬ りんぎん林 (雑木)
- ⑭ 土地の面積をはかる (測)
- ⑮ ながいねおりにつく (永)
- ⑯ ひさしぶりに会う (久)
- ⑰ つまと夫 (妻)
- ⑱ ことをたずね歩く (古都)
- ⑲ しんまいを食べる (新米)
- ⑳ ぎょくたん探知機 (魚群)

▼ちがいに気をつけて使い分けましょう。

- ② 「現れる」・・・姿や形が表に出るとき「太陽が東の空から現れた」
- 「表れる」・・・考えや感情が表に出るとき「はげしい怒りの感情が表れる」
- ③ 「測る」・・・長さ、広さなど「教室の横の長さを測る」
- 「図る」・・・いろいろなとやってみる「学級会の議題に計る」
- 「計る」・・・数量や時間「持久走のタイムを計る」
- ④ 「長い」・・・はしからはしまで「学校の廊下は長い」
- 「永い」・・・永久にという意味がふくまれる「友情の絆は永く結ばれる」

7 漢字を読む ③	学年	
	組	
	名前	

1 | ———— の漢字の読みがなを () に書きましょう。

- ① 一歩退く (しりぞ)
- ② 朝食を食べる (ちょうしょく)
- ③ 外国から帰国する (きこく)
- ④ 水田が広がる (すいでん)
- ⑤ 報道番組 (ほうどう)
- ⑥ 賛同を得る (さんどう)
- ⑦ 職人わざ (しょくにん)
- ⑧ ピアニストを志す (こころざ)
- ⑨ 人が群がる ☆ (がら)
- ⑩ 理由が複数ある (ふくすう)

- ⑪ 往路と復路 (おう・ふく)
- ⑫ 反則はしない (はんそく)
- ⑬ 三角定規 (じょうぎ)
- ⑭ 父が禁酒している (きんしゅ)
- ⑮ 血圧を測る (けつあつ)
- ⑯ 要求を退ける (しりぞ)
- ⑰ 旧式のエアコン (きゅうしき)
- ⑱ アメリカに求住する (えいじゅう)
- ⑲ 感情を表に出す (かんじょう)
- ⑳ 鉄橋を渡る (てつきょう)

☆「群」という漢字は、様々な読み方があります。

- ・「群」：「大群 (たいぐん)」
- ・「む (れる)」：「すずめが群れる」
- ・「む (れ)」：「魚の群れ」
- ・「むら」：「人が群がる」

教科書 P 132 を参考に、短文作りをしてみましょう。

18 敬語		年	学
名前	組		

「けんじよう語か尊敬語かまよつたら。」
 動作をする人が自分のときは、
 けんじよう語です。

1 | 〇の言葉を、「ていねいな
 言い方」に直しましょう。

① 先生をよんでくれ。

② この席は空いているか。

③ 星がきれいだな。

④ うまいと言った。

2 | 〇の言葉を、「尊敬語」に直
 しましょう。

① 先生が映画を見る。

② お客様が部屋にいる。

③ 先生がケーキを食べる。

④ 市長が学校に来る。

3 | 〇の言葉を、「けんじよう語」
 に直しましょう。

① プレゼントをもらう。

② 私があいさつを言う。

③ 私が先生の荷物を持つ。

④ お花をあげる。

⑤ 私が行きます。

4 | 次の文の | 部分が、「ていね
 い語」ならばア、「尊敬語」ならば
 イ、「けんじよう語」ならばウの記
 号を書きましょう。

① 先生がお笑いになる。【イ】

② 名所をご案内する。【ウ】

③ ここが私の家です。【ア】

④ 手紙をお見せする。【ウ】

⑤ 三十分前に来ました。【ア】

18	敬語		
年	組	名	前
学			

1 次の手がするとき 1 自分(身内)がその動作をするとき
 「普通(けんじょう)の言い方」と「尊敬(そんけい)語」と「けんじょう語」に書き直しましょう。

① 見る いらっしゃる (普通(けんじょう)の言い方) ↓
 見せていただく はいけんする (けんじょう語)

② 聞く お聞きになる お耳に入る ↓
 うかがう

③ 言う おっしゃる、言われる ↓
 申し上げます、申す

④ 食べる めし上がる ↓
 いただく

⑤ 行く いらっしゃる ↓
 うかがう まいる

2 次の言葉、「ふう」の言い方に直しましょう。

例 先生が学校に来られる。

① ぼ金を集めます。 (来る)

② お客様がごらんになる。 (集める)

③ 家には、私があります。 (見る)

④ 荷物をお持ちする。 (いる)

⑤ 夕食をめしあがる。 (持つ)

(食べる)

3 次の言葉、指示にしたがって、敬語に直しましょう。

① 妹は、元気にあいさつする。

(です、ます)を使つたていねい語

あいさつします

② 先生が、本を読む。

(お...になる)の形の尊敬語

お読みになる

③ 冬の夜空は、とてもきれいだ。

(です、ます)を使つたていねい語

きれいです

④ 校長先生が、退席する。

(ご...になる)の形の尊敬語

ご退席になる

【解答】

問一

ある地方にだけつかわれている言葉

②

日本全国どこでも共通して用いられる言葉

問二

秋

問三

① 地方独特の言い回しには温かみや、親しみを感ずる

②

他の地方の人には通じにくい

問四

才

問五

方言

問六

場 面 や 相 手 を 考 え て 使い分ける

【解説】

本問題は、「共通語と方言の違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと」に関連した内容です。「方言をさがしてみよう」という文章を読むことで「方言と共通語」の違いを理解し、それぞれにどのような特質とよさがあるのか理解していく内容になっていきます。文章を読み取っていけば解答を導き出すことができます。

問一は「方言」とは何か「共通語」とは何かを問題文から読み取っていく問題です。

問二は問一同様、問題文を読んで理解すれば例として出された言葉が「秋」であることはすぐ解読できます。

問三「方言」についての特質を読んで理解していく内容です。「よさ」と「欠点」について問題文から正確に読み取っていきます。

問四「たとえば」の言葉に着目し、何に対する例を示そうとしているのか考えれば解答が導き出せます。

問五 どのような場面で使うのがよいのか考えればできます。

問六 必要に応じて使い分けることの大事さを本文から読み取ることが大事です。